

## 産業春秋

題字 今井 敬氏

マテリアル・トレーディング・カンパニー社長

小滝 秀明

今年もあと3週間を残すのみとなった。歳を重ねるごとに時は早く過ぎ、街はまたクリスマス色で彩られている。昨年よりも飾り付けに活気があるように見えるのは嬉しい。

拙宅にも大きなツリーがお目見えした。七夕の短冊のように皆が思い思いに飾りつけするのは楽しい年中行事だ。昨年の今頃はこうだった、と想い出話に花が咲く。夏にニューヨークに赴任した長男夫婦がいらないのは寂しいけれど、それも歴史の一ページとして記憶に残る。

クリスマスのあと、慌ただしく正月の準備にとりかかる日本はとかく忙しい。12月26日に別段の意味はなく、まして祝日でもない。しかし17年間過ごした英国

## ボクシング・デー



や北欧では、26日はボクシング・デーという祝日だ。もちろん毎年大きな試合があるわけではない。もっとしみみりと考えさせられる日なのである。

教会がクリスマスまでに寄付箱への寄付を呼びかけ、12月26日に恵まれない人々に配ったのが由来なのだ。富裕層宅では、クリスマスも休まず働く使用人達のために、主が一日遅れのプレゼントと共に休みを与えて労をねぎらったという。プレゼントのボックスを開ける日の意味でボクシングと言っわけだ。

現代では、普段からお世話になっている牛乳や新聞配達はもちろん、ウインドウクリナー、ガードナーなどへと変化した。彼らはクリスマスが近づくと、そつとカードを添えて声をかけてくれる。

「メリークリスマス」の一言に一年のご愛顧と家族の幸せを祈る気持ちを込める。こちらからは一年間つくしてくれたお返しに、カードとプレゼントを手渡す。どんな階級、地位であろうと、お互いにクリスマスを祝福し、感謝し合う日なのである。

何より幸せを独り占めせず、分け与える気持ちが尊い。「浪費より良費」で、「お・す・そ・わ・け」の精神でもあろう。先日王子を出産した英国

キャサリン妃は、いつも日用品の買物をしていた近所の店主であるインド人夫妻を結婚式に招待した。日頃のお世話への感謝の表し方が絶妙だ。招待された側もどんなに幸せだったろう。王室の繁栄を祈ったのは言うまでもあるまい。

今ではボクシングデーが、冬のセールの初日となっているのもわかりやすい。我慢していたものがようやくやく手に入る、現代版の庶民のための日というべきか。

日本でもし「ボクシングデーセール初日」と銘打ったらどうなのだろう。熱氣溢れるセール会場が、正真正銘のタイトルマッチのように聞こえて可笑しい。そつとリンクサイドで声援を送るのが無難だろう。